

エコロジー<セコロジー？ 環境を意識して行動しています。 そのホンネは？

株式会社かんでんCSフォーラムでは、生活者の「くらし意識」の変化を継続的に調査しているマーケティングリサーチ会社です。

弊社では皆さまの業務活動の一助となるべく、2009～2010年に実施した「環境関連商品の購入」に関する自主調査のトピックをまとめた資料を作成しました。
以下ご一読いただきますと幸いです。

調査結果のポイント

- 1 主婦はエコロジーよりセコロジー。
環境を意識して購入した商品のTop3は**
⇒食器洗剤、洗濯洗剤、携帯用マイ箸
- 2 エコポイント対象商品購入の際の「エコポイント
制度」の影響は？**
⇒とても影響があった 27%
⇒わりと影響があった 48%

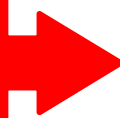


お客さまと企業、心をつなぐパートナー

かんでんCSフォーラム

株式会社かんでんCSフォーラム 水野・岡田
大阪市中央区南船場3-2-4 南船場ユーズビル9F
TEL:06-6121-7688
<http://www.kcsf.co.jp/index.html>

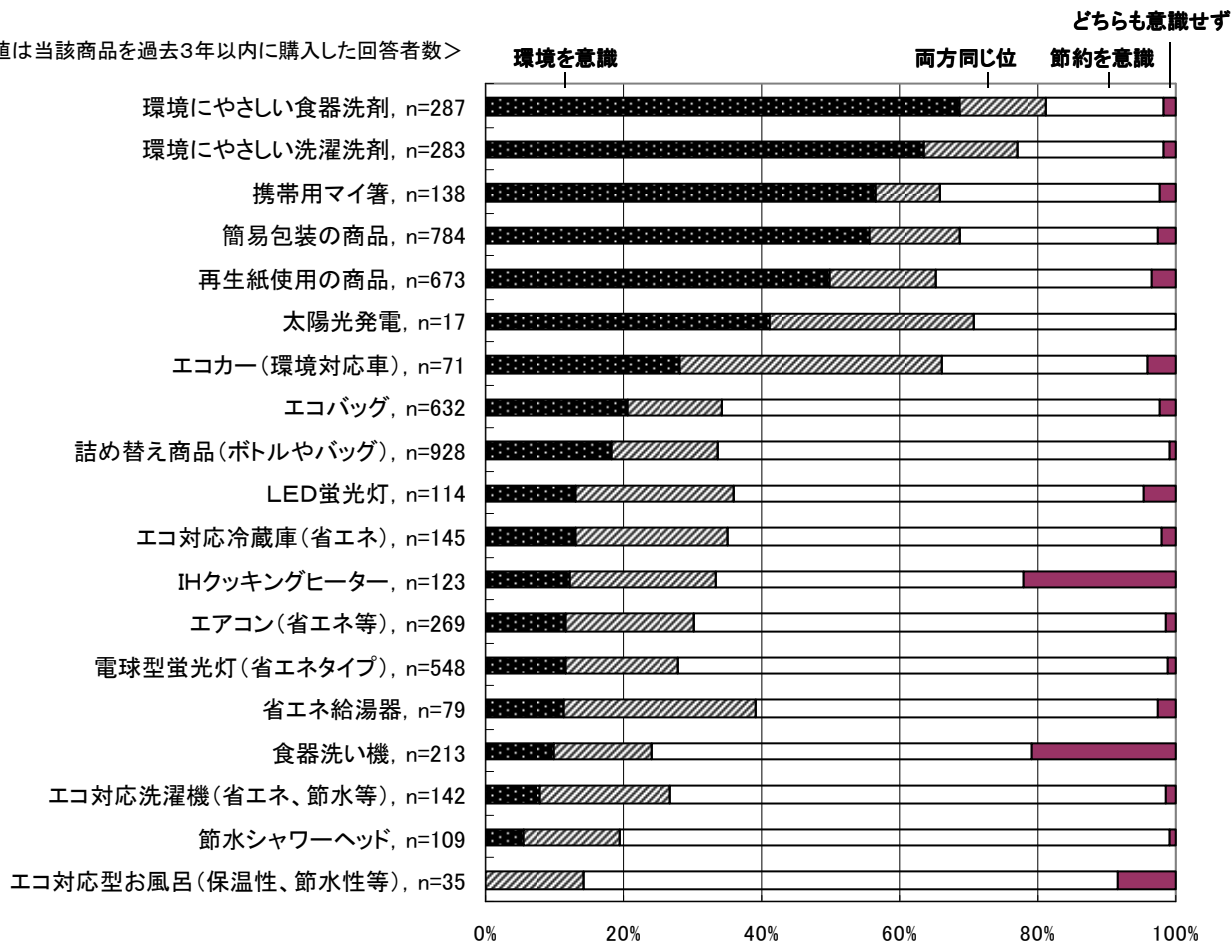
詳細データについては
次ページをご覧ください



1. 購入した環境関連商品について

～過去3年以内に購入した環境関連商品について～「購入の際、環境と節約、どちらを意識したか」

<※n値は当該商品を過去3年以内に購入した回答者数>



全国の主婦1,200人に過去3年間に購入した環境関連商品について、「環境(エコ)」と「節約(セコ)」のどちらを意識したかを聞いたところ、特にランニングコストがかかる家電系の商品では、「節約(セコ)」への意識が高いことがわかりました。

洗剤やマイ箸、簡易包装の商品、再生紙使用の商品など安価なものについては、「環境を意識した」という人が多い傾向がみられました。

しかし、ランニングコストがかかる家電系の商品では「環境よりも節約を意識した」という人が圧倒的に多い。中でも水回り関係の商品は環境よりも節約の意識が高い傾向がみられました。

本情報は出典を明記の上、個人・学校内の資料にご活用下さい。出版物等商用利用される場合は、事前に弊社までご連絡下さい。

■上記データの出典調査概要

調査テーマ: 環境と節約に関する調査

調査対象: 全国の既婚女性

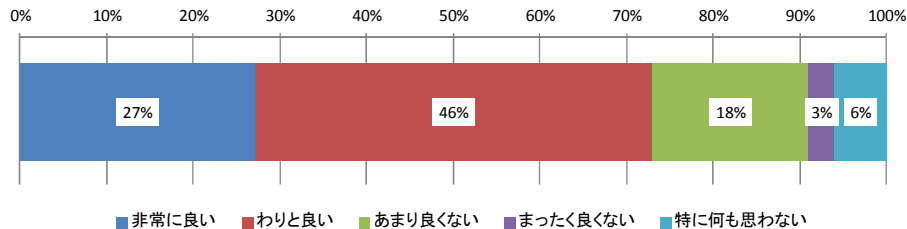
有効回答数: 1,200

調査方法: webリサーチ

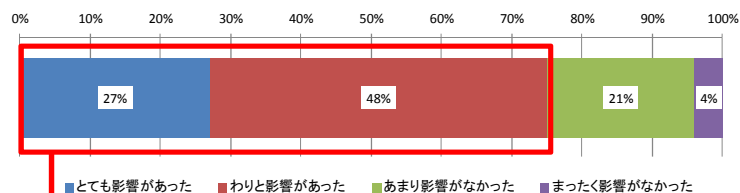
調査時期: 2009年5月

2. エコポイントに関する意識・行動について

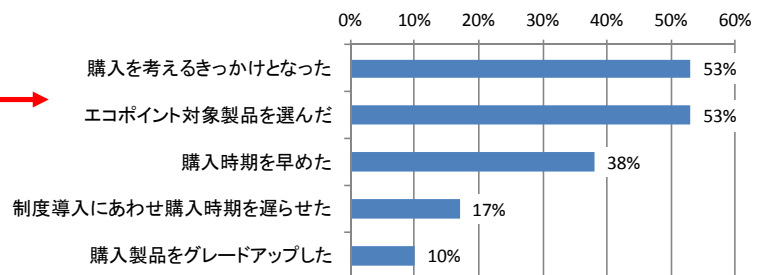
◆「エコポイント」制度についてどう思いますか？ (n=872)



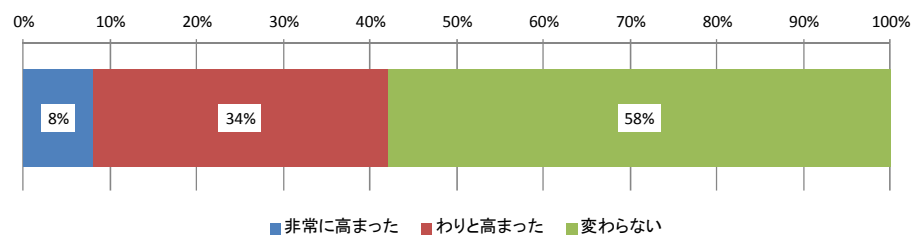
◆「エコポイント」対象製品購入の際、「エコポイント」制度の影響はありましたか？ (n=872)



◆どのように影響しましたか？ (n=652)



◆「エコポイント」制度によって環境に対する意識は高まりましたか？ (n=872)



「エコポイント」対象製品の購入経験がある全国の主婦872人に、「エコポイント制度の影響」について質問したところ、75%の主婦が対象家電製品の購入時に何らかの影響を受けた傾向がみられました。一方で、制度により「環境に対する意識が高まった」と答えた主婦は半数以下(42%)の傾向がみられました。

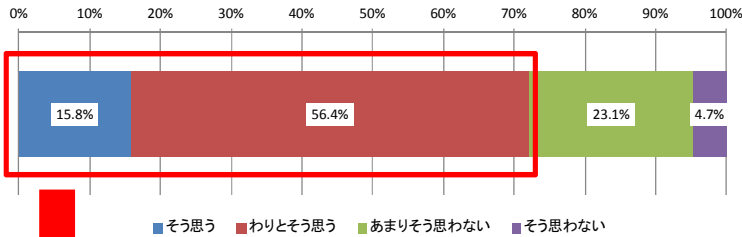
本情報は出典を明記の上、個人・学校内の資料にご活用下さい。出版物等商用利用される場合は、事前に弊社までご連絡下さい。

■上記データの出典調査概要

調査テーマ: エコポイント制度の影響に関する調査
 調査対象: 全国の既婚女性(エコポイント対象製品の購入経験者)
 有効回答数: 872
 調査方法: webリサーチ
 調査時期: 2010年2月

3. 環境意識の変化やそれにもなっている行動について

◆ここ2～3年の間に「環境問題への意識」が高まったと思いますか？ (n=550)



◆環境問題への意識が高まった理由

自由回答をまとめたもの (n=397)

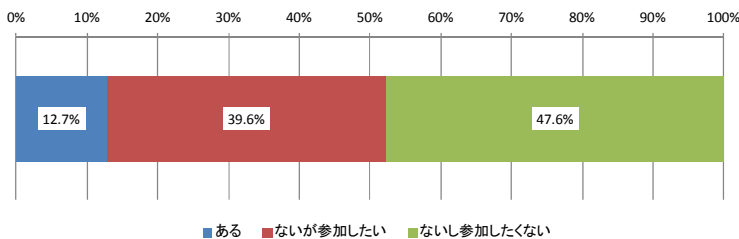
1位	マスコミの報道・啓蒙CM	101
2位	温暖化問題	66
3位	異常気象	47
4位	周囲(職場・世の中)におけるエコ意識の浸透	33
5位	ゴミの分別処理、リサイクル	28

◆環境問題の意識が高まって行っていること

自由回答をまとめたもの (n=397)

1位	ゴミの分別	105
2位	エコバック、マイ箸などの持参	78
3位	日々の節電・節水	77
4位	ゴミを出さないようにする。リサイクルを心がける	37
5位	エアコンの温度設定、使用を控える	32

◆環境に関するボランティア活動に参加したことがありますか？ (n=550)



◆参加した(したい)理由

自由回答をまとめたもの (n=288)

1位	清掃活動	110
2位	リサイクル活動	20
3位	緑化推進・植樹活動	11
4位	気軽に(近場で)参加できるもの	7
5位	環境改善の勉強会に参加	3

◆参加しない(できない)理由

自由回答をまとめたもの (n=218)

1位	情報が無い	73
2位	時間的余裕が無い・都合が合わない	65
3位	機会が無い	30
4位	体力が無い・健康面で無理がある	7
5位	子供が小さい・育児中	6

「エコポイント」対象製品の購入経験がある全国の主婦872人に、「エコポイント制度の影響」について質問したところ、75%の主婦が対象家電製品の購入時に何らかの影響を受けた傾向がみられました。一方で、制度により「環境に対する意識が高まった」と答えた主婦は半数以下(42%)の傾向がみられました。

本情報は出典を明記の上、個人・学校内の資料にご活用下さい。出版物等商用利用される場合は、事前に弊社までご連絡下さい。

■上記データの出典調査概要

調査テーマ: エコポイント制度の影響に関する調査
 調査対象: 全国の既婚女性(エコポイント対象製品の購入経験者)
 有効回答数: 872
 調査方法: webリサーチ
 調査時期: 2010年2月